

試験日	令和7年1月21日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（目的）

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。

（ ）

問2【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、事業者がこの規定に違反していると認めるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきこと及び役員解任を命ずることができる。

（ ）

問3【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

事業者は、運賃及び料金（個人（事業として又は事業のために運送契約の当事者となる場合におけるものを除く。）を対象とするものに限る。）、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

（ ）

問4【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすることとなる運送の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。

（ ）

問5【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者が、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしたときは、国土交通大臣は、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

（ ）

問6【貨物自動車運送事業法】（事業の休止及び廃止）

事業者は、その事業を休止し、又は廃止したときは、その日から30日以内に、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

（ ）

問7【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業の休止又は廃止の届出書には、休止又は廃止を必要とした理由を記載しなければならない。

（ ）

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（輸送の安全）

貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送効率の向上に努めなければならない。

()

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過積載の防止）

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者、特定自動車運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

()

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項として正しいものには○を、正しくないものには×を記入しなさい。

ア. 事故関係者の氏名 ()

イ. 事故の発生日時 ()

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者等台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなるまでの間、これを保存しなければならない。

()

問 12 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者は、従業員に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存しなければならない。

()

問 1 3 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

()

問 1 4 【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の荷台に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

()

問 1 5 【道路運送車両法】（定期点検整備）

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

()

問 1 6 【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両重量8トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

()

問 1 7 【道路交通法】（乗車又は積載の方法）

車両の運転者は、運転者の視野若しくはハンドルその他の装置の操作を妨げ、後写鏡の効用を失わせ、車両の安定を害し、又は外部から当該車両の方向指示器、車両の番号標、制動灯、尾灯若しくは後部反射器を確認することができないこととなるような乗車をさせ、又は積載をして車両を運転してはならない。

()

問 1 8 【労働基準法】（非常時払）

使用者は、労働者が出産、疾病、災害その他厚生労働省令で定める非常の場合の費用に充てるために請求する場合においては、支払期日前であっても、既往の労働に対する賃金を支払わなければならない。

()

問 1 9 【労働安全衛生法】（重量表示）

一の貨物で、重量が1トン以上のものを発送しようとする者は、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、当該貨物にその重量を表示しなければならない。ただし、包装されていない貨物で、その重量が一見して明らかであるものを発送しようとするときは、この限りでない。

()

問 2 0 【下請代金支払遅延等防止法】（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日が定められなかったときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第2条の2第1項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して30日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。

()

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()
内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法施行規則】(届出)

次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものはどれか。
次のア～ウの中からを1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業の譲渡し及び譲受け
- イ. 休止していた事業の再開
- ウ. 法人の合併及び分割

()

問2【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選
任してはならない者はどれか。次のア～オの中から2つ選び()内に記号で記
入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)
- エ. 事務職として採用した正規職員
- オ. 3ヶ月の期間を定めて使用される者

() ()

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行指示書による指示等）

事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員等の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員等の氏名

（ ）

問4【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定められた報告書を、決められた時期に提出しなければならないが、事業者が提出しなければならない時期として正しいものはどれか。次のア～サの中からそれぞれ1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

<事業報告書>

毎事業年度に係るものを毎事業年度の経過後（ ）以内

<事業実績報告書>

前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年（ ）まで

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| ア. 30日 | イ. 60日 | ウ. 90日 | エ. 100日 |
| オ. 120日 | カ. 3月31日 | キ. 4月10日 | ク. 7月10日 |
| ケ. 7月31日 | コ. 9月30日 | サ. 12月31日 | |

問5【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。)は、次に掲げる場合を除き有償で運送の用に供してはならないが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車が故障のため一時的に不足しているとき
- イ. 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するとき
- ウ. 災害のため緊急を要するとき

()

問6【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められているが誤っているものはどれか。次のア～オの中から2つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。
- イ. 連続運転時間は、5時間を超えないものとする。
- ウ. 拘束時間は、労使協定がないとき、1か月について284時間を超えないものとする。
- エ. 勤務終了後、継続6時間以上の休息期間を与えること。
- オ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。

() ()

試験日	令和7年1月21日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（目的）

この法律は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。

（ ○ ）

問2【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、事業者がこの規定に違反していると認めるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきこと及び役員解任を命ずることができる。

（ × ）

問3【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

事業者は、運賃及び料金（個人（事業として又は事業のために運送契約の当事者となる場合におけるものを除く。）を対象とするものに限る。）、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

（ × ）

問4【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすることとなる運送の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。

（ ○ ）

問5【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者が、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしたときは、国土交通大臣は、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

（ ○ ）

問6【貨物自動車運送事業法】（事業の休止及び廃止）

事業者は、その事業を休止し、又は廃止したときは、その日から30日以内に、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

（ × ）

問7【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業の休止又は廃止の届出書には、休止又は廃止を必要とした理由を記載しなければならない。

（ ○ ）

問 8 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（輸送の安全）

貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送効率の向上に努めなければならない。

(×)

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過積載の防止）

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者、特定自動車運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

(×)

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項として正しいものには○を、正しくないものには×を記入しなさい。

ア. 事故関係者の氏名 (×)

イ. 事故の発生日時 (○)

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運転者等台帳）

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなるまでの間、これを保存しなければならない。

(×)

問 12 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者は、従業員に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存しなければならない。

(×)

問 1 3 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

（ ○ ）

問 1 4 【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の荷台に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

（ × ）

問 1 5 【道路運送車両法】（定期点検整備）

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

（ × ）

問 1 6 【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備並びに自動車車庫の管理に関する事項を処理させるため、自動車の点検及び整備に関し特に専門的知識を必要とすると認められる車両重量8トン以上の自動車その他の国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

（ × ）

問17【道路交通法】(乗車又は積載の方法)

車両の運転者は、運転者の視野若しくはハンドルその他の装置の操作を妨げ、後写鏡の効用を失わせ、車両の安定を害し、又は外部から当該車両の方向指示器、車両の番号標、制動灯、尾灯若しくは後部反射器を確認することができないこととなるような乗車をさせ、又は積載をして車両を運転してはならない。

(○)

問18【労働基準法】(非常時払)

使用者は、労働者が出産、疾病、災害その他厚生労働省令で定める非常の場合の費用に充てるために請求する場合においては、支払期日前であっても、既往の労働に対する賃金を支払わなければならない。

(○)

問19【労働安全衛生法】(重量表示)

一の貨物で、重量が1トン以上のものを発送しようとする者は、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、当該貨物にその重量を表示しなければならない。ただし、包装されていない貨物で、その重量が一見して明らかであるものを発送しようとするときは、この限りでない。

(○)

問20【下請代金支払遅延等防止法】(下請代金の支払期日)

下請代金の支払期日が定められなかったときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日が、法第2条の2第1項の規定に違反して下請代金の支払期日が定められたときは親事業者が下請事業者の給付を受領した日から起算して30日を経過した日の前日が下請代金の支払期日と定められたものとみなす。

(×)

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()
内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法施行規則】(届出)

次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものはどれか。
次のア～ウの中からを1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業の譲渡し及び譲受け
- イ. 休止していた事業の再開
- ウ. 法人の合併及び分割

(イ)

問2【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選
任してはならない者はどれか。次のア～オの中から2つ選び()内に記号で記
入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)
- エ. 事務職として採用した正規職員
- オ. 3ヶ月の期間を定めて使用される者

(イ) (ウ)

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行指示書による指示等）

事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員等の休憩地点及び休憩時間（休憩がある場合に限る。）
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員等の氏名

（ ウ ）

問4【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定められた報告書を、決められた時期に提出しなければならないが、事業者が提出しなければならない時期として正しいものはどれか。次のア～サの中からそれぞれ1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

<事業報告書>

毎事業年度に係るものを毎事業年度の経過後（ エ ）以内

<事業実績報告書>

前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年（ ク ）まで

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| ア. 30日 | イ. 60日 | ウ. 90日 | エ. 100日 |
| オ. 120日 | カ. 3月31日 | キ. 4月10日 | ク. 7月10日 |
| ケ. 7月31日 | コ. 9月30日 | サ. 12月31日 | |

問5【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車(事業用自動車以外の自動車をいう。)は、次に掲げる場合を除き有償で運送の用に供してはならないが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車が故障のため一時的に不足しているとき
- イ. 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するとき
- ウ. 災害のため緊急を要するとき

(ア)

問6【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められているが、誤っているものはどれか。次のア～オの中から2つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。
- イ. 連続運転時間は、5時間を超えないものとする。
- ウ. 拘束時間は、労使協定がないとき、1か月について284時間を超えないものとする。
- エ. 勤務終了後、継続6時間以上の休息期間を与えること。
- オ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。

(イ)(エ)

北陸信越運輸局

(注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回							再試験							合計																
	受験者数		内訳		合格者数		合格率	受験者数		内訳		合格者数		合格率	受験者数		内訳		合格者数		合格率										
	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等		新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等		新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等											
R7.1.21	9	9	0	6	6	0	66.7%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	3	3	0	66.7%